

未来へつなぐ防風保安林 ～ 森林づくりの方法～

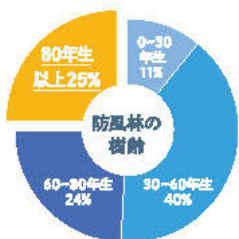
防風保安林のはたらき

防風保安林のはたらき

防風保安林とは、強い風を防ぎ、和らげるための森林で、強風から私たちの暮らしだけでなく農地や道路なども守っています。空知森林管理署では美瑛市、長沼町、南幌町、由仁町に位置する約300ヘクタールの防風保安林を管理しています。

これらの防風保安林は木を植えてから60年以上経過したものが約半数あり、樹木の老齢化により、風によって枝が落ちたり木が倒れた

りするようになりました。そこで風を防ぐ働きはそのままに、防風林を若返らせ、畑や田んぼへの日当たりも良くなるように、農地側は背が低い木、真ん中は背が高い木が生育するような凸(とつ)型の森林づくりを平成26年からスタートさせました。



防風林があると…

乾燥を防ぎ
気温をやわらげる

農地や道路を守るよ!

防風林がないと…

砂ぼこりに
埋まってしまう!

1 老齢化した木を伐倒



樹木の老齢化により強風が吹くと倒木や枯れた枝が落ちてくるようになり、このままでは防風林としての力が発揮できないので片側幅10m～15mの範囲で木を伐倒します。



2 木を植える



道路や畑側には低木を植えることで、日当たりを良くし倒木など隣地への影響を最小限にします。



3 草刈&植栽木保護



植えた木が元気に育つように、大きくなるまで周りの草を刈り取る作業(下刈)や植栽木の保護を行います。下草を刈ってあげないと暑さで蒸れて元気に育ちません。



4 凸型の防風林が完成!



植えた木が成長し防風機能が発揮できるようになったら反対側も伐倒し、同じように木を植えます。樹木の若返りで防風効果が高まり隣の畑に日光も届きやすくなります。

防風林に植栽されている樹種の紹介

ヤチダモ、シラカバ、ハンノキ、ドロノキ、アキグミ、イタヤカエデ、ハウチワカエデ、イヌエンジュ、エゾヤマザクラ、カシワ、クルミ、ケヤマハンノキ、ナナカマド、ハクウンボク、ヤマグワ、アカエノマツ、トドマツ、ドイツトウヒ